

7月の天の祝福

7月は2つの出来事がありました。まず1つ目は1955年7月4日ですが、お父様が西大門刑務所へ収監された日です。社会を混乱させたという罪で収監されたのです。お父様がイエス様の33歳を越えて34歳の時に教会を創立し、軌道にのっていた矢先の事でした。お父様が若いお歳でありましたので、若い青年たちが入教してきたわけです。お父様のみ言に魅了され夜の12時を過ぎてしまい、多くの学生たちは学校に戻ることが出来なくなり朝までいるしかありませんでした。その学生たちが寮に戻りませんので、社会的な問題になってしまったのです。サタン側から見れば神側へ多くの人が行ってしまうので、どれほど焦ったことでしょう。

イエス様の時はそのイエス様を待っていたユダヤ教が十字架へと追いやってしまいました。その時の弟子たちはイエスを守ることが出来ませんでした。再臨のこの時も同じなのです。蕩滅復帰ですので同じようなことが起こるのです。再臨のメシヤを待ち望んでいたキリスト教と政府が組んで迫害しました。基盤はまだそれほどない統一教会を学校が乗っ取られぬうちに消滅させようと考えたのです。しかし、59年経ちましたがこの痛みは我々の中に栄光として残っているのです。

もう一つ7月にある忘れてはいけないものが、1991年7月1日、全祝福家庭は故郷へ帰れと言われたことです。氏族メシヤとして出発したときです。霊界の氏族、地上の氏族は私を通して救われるのです。それが氏族メシヤの役割であります。霊界は救われるために再臨協助しますので私一人ではないという事です。このように私個人の救いのみならず、氏族を救う目的をもったところが統一教会であるというのです。お父様の勝利圏ゆえに氏族メシヤ宣布が出来たという事を忘れてはなりません。では故郷のどこに還ればいいのか。親がいる所、親戚が多くいる所、お墓がある所になります。まず自然を愛しなさいと言われました。2番目は墓参りをして先祖を侍りなさい、その次に氏族を愛しなさいと言われました。これは変わらない原則であり、統一教会の一番大切な信仰になります。

そして、その氏族メシヤを果たす為に効果的な内容は何か？①ご先祖様が協助出来るように続けていく事②アベル的な氏族を探して基台をつくること③変化している自分の姿自慢していく事④氏族に関心と愛を見せていく事です。最後に、私たちは氏族メシヤです。私たちは氏族の王です。私たちは氏族の救世主なのです。

本教会の礼拝に初めて参加された方を心から歓迎いたします
天の父母様と真の御父母様の祝福が共にありますようお祈り致します

1. お誕生日を迎えた食口の皆様、おめでとうございます。
2. 聖和 2 周年特別精誠期間
TFが聖和され、震災3年を越え2014年7月にラスベガスのPeacePalaceがついに奉獻されることになりました。聖和の直前まで日本を愛してくださったTFの愛を追慕し震災から3年の期間を象徴した3次に渡る2周年特別精誠期間をもって参りますので天一国時代を超えて日本の復興を具体的に天に奉獻して参りましょう。
1次:天曆2月3日(陽曆3月3日)~天曆4月2日(陽曆4月30日)
2次:天曆4月3日(陽曆5月1日)~天曆6月4日(陽曆6月30日)
3次:天曆6月5日(陽曆7月1日)~天曆7月16日(陽曆8月11日)
3. 真のお父様聖和2周年 93 日伝道路程
◆条件:「原理講論」または「天聖經」完読
◆目標:一家庭祝福伝道
◆期間:2014年5月12日~8月12日(陽曆)
5. 伝道三日路程
期間:7月15日(火)~7月17日(木)
6. 家系図講演会
日時:7月17日(木)10:30~
場所:浦和教会
7. 第 24 回七・一節および第 18 回七・八節行事案内
日時:天一国 2 年天曆7月1日(陽 7.27)日曜日
場所:浦和教会
8. 3万双家庭会2014年総会
日時:8日23日(土)11:00~16:00(受付開始10:30)
場所:新宿教会2階礼拝堂 ○参加費:500円
9. 千葉中央修練所・8月の短期修練会
『原理の要点・祝福の意義と価値』特別 3 日修
『原理の要点・現代の摂理』特別 3 日修
日時...8/12 20:00 集合(夕食済ませて) ~ 8/15 16:00 解散
10. 真のお父様聖和2周年訪韓
日時:8月11日~13日
11. VISION2020 勝利の為の基台長及び区域長修練会
第15回:2014年 9月18日(木) ~ 9月23日(火)
第16回:2014年 10月25日(土) ~ 10月30日(木)

【年頭標語】

창조주 하늘부모님을 닮은 참사랑을 실천하는 천일국의 참주인이 되자!

創造主、天の父母様に似た、真の愛を実践する
天一国の真の主人になろう!



浦和教会

Holy Spirit Association For Unification
of World Christianity Urawa Church
世界基督教統一神霊協会

教区長: 李 炯燮 牧師

さいたま市南区南浦和1丁目23-12
Tel: 048-886-8774 / Fax: 048-886-8797
E-mail: uc.urawa@gmail.com

式次第



執礼者：近藤文彦先生

司会者：赤岩弘一部長

開 会	司会者
黙 禱	全 体
※開会讃頌 聖歌 16番	全 体
※敬 拝	全 体
※家庭盟誓	全 体
代表祈禱	奥平昌広
讃 頌	聖歌隊
み言訓読	全 体
説 教	人はなぜ苦勞するのか	
※讃 頌 聖歌 18番	全 体
※祝 禱	執礼者
※全体祈禱	全 体
教会音信	司会者
閉 会	司会者

～お願い～ ※印のある項目は、全員起立して進行いたします

『 生めよ、殖えよ、地に満ちよ 』

今週のみ言

私がアベルになるためには、カインを探さなければなりません。カインを探し出すまでは、アベルになれません。したがって、私が神様を身代わりする立場で、僕の僕の位置と僕の位置を経て、養子の位置を経て、息子の位置に上がっていかなくてはなりません。そうしてカイン・アベルを中心として屈服したという条件を立ててこそ、神様のみ前に立つことのできる息子の責任が終わるのであり、その位置でカインが協助する立場に立てば、父母の位置に進むようになるのです。

蕩滅の道は、誰が行くのでしょうか。カインが行くものではありません。アベルが行かなければなりません。涙を流すにしても、先に流さなければならず、おなががすくにしても、先にすかなければならず、悪口を浴びるにしても、先に浴びなければならず、むち打たれるにしても、先に打たれなければなりません。そのように蕩滅の道を行くのです。一人の人が入ってきたとすれば、その人を導いていけるように責任をもたなければなりません。夜を徹してその人の過去を聞いてあげ、父のような立場で相談に乗ってあげ、涙を流して祈ってあげなければなりません。帰るときには、心配でその家の前まで連れて行ってあげ、また朝になれば心配になり、その家の前に行って待つては会う、このようなことができなければなりません。結局は、誰よりも人を好きになる人間にならなければならないのです。カインを一番好きになる人にならなければなりません。そうしてこそ、その人が私の後ろにしっかりとついてくるのです。そのようにして蕩滅の道を行かなければなりません。

～天聖經 第九篇 家庭教会と氏族的メシヤ～

統一運動

天一国2年7月1日訓読会、天正宮で開かれる

この日の真のお母様は世界本部・文善進本部長の任命について話をされて「この娘が統一家の祝福家庭一世の献身的な苦勞を心から理解してくれて、位置に執着することなく、為に生きる真の愛を実践しようと努力する娘なのでこの期間、私を助けるため本部長に任命することにしました」と話され、天宙聖と2周年まで40日余り残して私たちが最善の努力を尽くしているのか尋ねられて「もう一度悔い改めて心と体を浄化しなければならない」とおっしゃった。加えて「今の時は内外が一つにならなければならない時です。体・心の統一から、家庭、教会、氏族、民族が一つになるように努力します」と語られ「清平役事は、天が聖別して育ててこられた大母様の特別権限であるので、あれこれと言ってはなりません」と言われた。最後に「もう全世界の教会は内実を期していかなければなりません。こうでもない、ああでもないということではいけません。色が明らかでなければなりません。そうした点でこの40日期間の間に不足なことを悔い改めて反省し、残った生涯、皆さんが最善を尽くして天が望む期待に栄光をお返するという決意で、私たちの教会にサタンが入ってくるができる隙間を与えない、一つになった位置に立ち、一つの声を出して、この国と世界の前に見せなければなりません。生きて天の父母様、真の父母様の位相を立てて差し上げなければなりません。その道こそ、皆さんがこの時代を生きた人として、祝福家庭として、後代の前に恥ずかしくない人生となることでしょう。そのような体と心をもってこの40日を祈禱精誠を捧げる気持ちで聖和2周年を迎えて、また新しい3周年に向かって出発することを天の前に約束しましょう。」と語られた。

